kanie report
カイニーリポート

最終版　版1.0｜2026年9月24日｜学生向け

センサー高 15.5 m（暫定値）

訂正があれば同じ掲示場所で追記します

スマホ版（内容はA4版と同じ）

西宮沖レース海面ガイド

インカレ（西宮）2026年10月15〜18日　各日の最初の予告信号 10:25（18日は12:30より後には出ません）　レース海面：公示のABCD枠（東西3 km×南北2 km、枠中心 北緯34.6917°・東経135.3265°）の中の1 km四方。置き場所はレース委員会が決めます

まず、この3つを覚えてください

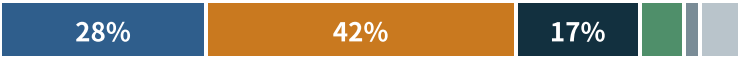
1. **10:25の風は、ほとんどの日で北〜東から吹いています。**神戸空港の10時の風速は、2〜6 m/sが約69%（平均4.2 m/s）です。
2. **10日のうち4日は、昼すぎ（12〜14時）に南西の海風へ回ります。**回る前に、いったん風が弱まります。
3. **北〜東の風はよく振れ、南西の海風は安定しています。**30分間の揺れ幅は、北〜東の風で±15°前後、南西の風で±4°前後です。

目次

1. 西宮の10月は、4種類の日でできています
2. 時刻ごとに、風の向きはこう変わります
3. 風の性格：北〜東は振れる、南西は安定
4. 当日の朝、3分でできる風のチェック
5. ラナイズの数字の読み方
6. 太陽（全日共通）
7. レース海面のまわり

1 西宮の10月は、4種類の日でできています

過去10年、大会日程をはさむ10月8〜25日の180日を、神戸空港の風で4種類に分けました。神戸空港は海の上にある観測点で、レース海面の風にいちばん近いと考えられます。



- 北東系持続 28%（50日）
- 海風転換 42%（76日）
- 強風日 17%（30日）
- 南寄り終日 6%（11日）
- 北西系持続 2%（4日）
- その他 5%（9日）

神戸空港アメダス　10月8〜25日×2016〜2025年＝180日（分類ルール版2）

	北東系持続 28%		海風転換 42%		強風日 17%		南寄り終日 6%	
9時		4.7		4.0		6.6		2.5
10時		4.5		3.5		6.8		2.8
11時		4.6		3.1		7.1		3.6
12時		4.3		2.8		7.0		4.5
13時		4.2		2.7		7.0		4.7
14時		4.0		2.9		7.2		4.9
15時		3.9		3.2		7.1		4.4
16時		4.0		3.7		6.8		4.1
17時		4.1		3.6		6.7		3.5

矢印＝風が流れていく向き（北東の風なら南西向き）。矢印の長さと数字＝平均風速（m/s）。
薄い矢印＝日によって向きがばらつく時間帯。点線枠＝最初の予告信号 10:25 に近い時刻。

北西系持続（4日）とその他（9日）は日数が少ないので図から外しました。

■ 北東系持続 28%

1日の流れ

朝から北東〜東の風が4 m/s台。午後も北東〜東のままで、大きくは回りません。

レースで意識すること

振れをつかむレース。コンパスの数字を覚え、振れに合わせてタックします。午後は振れ幅が大きくなります。

■ 海風転換 42%

1日の流れ

朝は東北東〜東で3〜4 m/s。11時ごろから弱まり、12〜14時に南西へ回ります。4回に1回は、15時ごろまでに北〜東へ戻ります。

レースで意識すること

転換前後の弱い風と待ち時間に備えます。最初のレースは北〜東、次のレースは南西の風で行われることがあります。**3回に1回は、海風が甲子園浜（レース海面の東側）まで届きません。**枠の西と東で風向が違うことがあります。とくに**朝の北東が4 m/s以上の日は届きにくくなります。**どちらの海面が有利かは、当日の観察で判断します。

■ 強風日 17%

1日の流れ

1日中7 m/s前後、最大で9 m/s級。多くは北東の風ですが、南西〜西の日もあります。

レースで意識すること

東寄りの強風では波（チョップ）が立ちます。艇の準備と体力の配分を考えておきます。

■ 南寄り終日 6%

1日の流れ

朝は南寄りの弱い風（3 m/s未満）。昼にかけて南西〜西の風が5 m/s前後まで上がります。

レースで意識すること

朝は軽風。昼からは安定した海風になります。

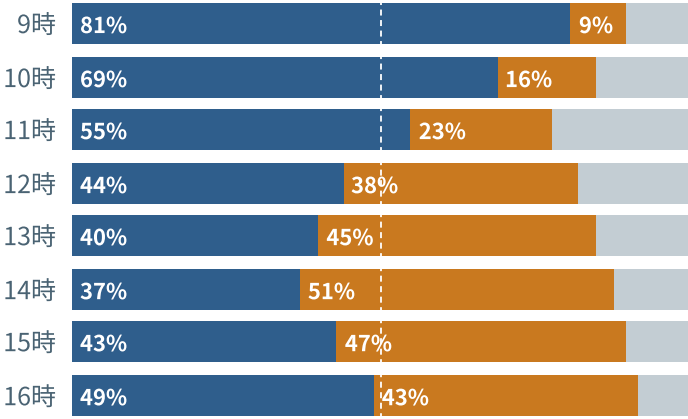
2 時刻ごとに、風の向きはこう変わります

神戸空港では、9時の81%が北〜東の風です。昼を過ぎると南〜西の風が増え、14時には51%になります。甲子園浜のラナイズの風速計（2021〜2025年の10月）でも、12〜15時台は南〜西の風が4割を超えます。ただし、神戸空港より南〜西の割合は低めです。

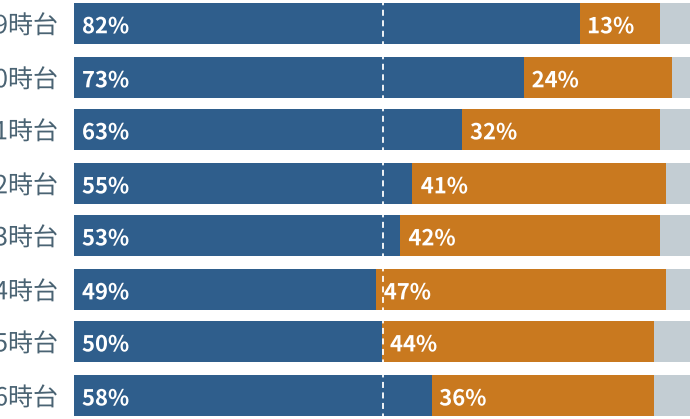
■ 北〜東の風（N・NE・E）　■ 南〜西の風（S・SW・W）

■ その他・無風

神戸空港（10月8〜25日、2016〜2025年）

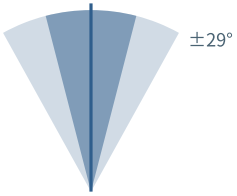


ラナイズ 甲子園浜（10月、2021〜2025年）



神戸空港は正時の値、ラナイズは各時台（例：10時台＝10:00〜10:59）の平均風向です。

3 風の性格：北〜東は振れる、南西は安定



北〜東の風
30分間の揺れ（標準偏差）約15°・中央値



南西〜西の風
30分間の揺れ（標準偏差）約4°・中央値

濃い扇＝揺れの標準偏差の幅、薄い扇＝その2倍の幅。ラナイズの1分値（2026年9/1〜9/15の9〜17時、風速2 m/s以上の30分間）から計算しました。2021〜2025年10月のデータでも同じ傾向（北〜東 約15°、南西〜西 約6.2°）です。

北〜東の風の日

- 風は陸（六甲山・市街地）から吹いてきます。強い部分（パフ）と振れが次々に来ます。
- スタート前にコンパスで風向の幅を測り、「いまは上か下か」を判断できるようにします。
- 風上の海面の色の濃い部分を見て、次に来るパフを探します。

南西の海風の日

- 向きが安定するので、振れよりも「どちらのサイドの風が強いか」「波と流れ」が勝負になります。
- 海風に回った直後は弱く、時間とともに強くなっていきます。
- 転換の途中は、場所によって風向が違うことがあります。

4 当日の朝、3分でできる風のチェック

1. **ラナイズビーチクラブの風速計（実測）**を見る。いまの風向と、10分ごとの変化を確認します。
2. **気象庁アメダス「神戸空港」の10分値**を見る。海の上の実測と、ラナイズの風向がそろっているかを確認します。
3. **Windy.com でモデルを MSM にして**、昼に南西へ回る予報かどうかを見ます。

3つを見た結果	その日のタイプ（目安）
北東〜東でそろい、MSMも午後まで北東〜東	■ 北東系持続

3つを見た結果	その日のタイプ（目安）
朝は北東〜東、MSMが12〜14時ごろに南西へ回す	■ 海風転換
朝から北東で7 m/s以上	■ 強風日
朝から南寄りで弱い	■ 南寄り終日

大会期間中は、作者がこの手順で毎朝判定した結果を、本ガイドと同じ場所に掲示する予定です。自分の判定と見比べてください。

海風転換と判定した日の、もう一つのチェック　②のアメダスで、神戸空港の朝の北東の風の強さを見てください。過去の記録では、神戸空港の午前の平均風速が**4 m/s未満**の日は、約8割（24日中20日）で海風が甲子園浜まで届きました。**4 m/s以上**の日は約半分（19日中10日）しか届きませんでした。朝の北東が強い日は、海風が西側だけに入り、**枠の東側には北〜北北東の風が残る**展開も考えておきます。境目では風が弱く、向きが定まりません。ただし、**境目が枠のどこにあるかは分かりません。東側と西側のどちらが有利かは、当日の海の上で風を見て判断してください。**

5 ラナイズの数字の読み方

ラナイズの風速計は、甲子園浜の建物の屋上のポールの上にあり、レース枠の中心から北東へ約3 km（2.9 km）です。

使う海面が枠のどこに置かれるかで、約2〜4 kmになります。方向によって、数字の意味が変わります。

- **北〜東の風：**手前の内水面（湾）を渡ってきた風を測っているので、海の上の感覚に近い数字です。
- **南〜南西の風：**手前約750 mの陸地と高速道路（湾岸線）の影響で、実際の海面より弱く表示されます。過去のデータでは、神戸空港と比べた割合が、北東の風のときの約3分の2でした。
- **風向、とくに昼の海風への切り替わりは、どの方向でも信頼できます。**
- 風速計の高さは地上約15.5 m（暫定値）です。セールの高さでは、表示より1割半ほど弱いと考えてください。
- 数字の読み替えには、1割程度の幅があります。数字よりも、風向と「強くなっているか、弱くなっているか」の変化を重視してください。

> **注意**　センサーの高さ（15.5 m）は暫定値です。高さの違いで数字が変わるのは数%で、上の「1割程度の幅」の中に収まります。

---

6 太陽（全日共通）

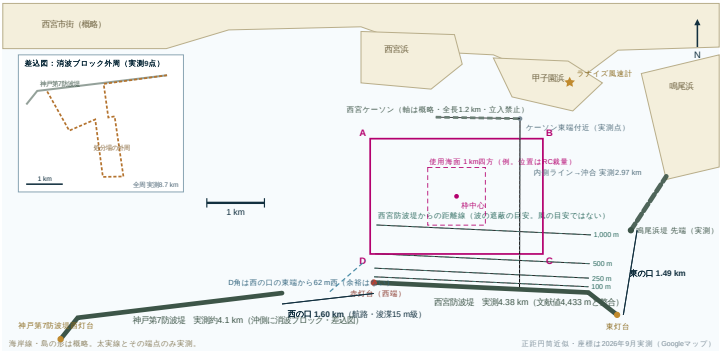
4日間で太陽の位置はほとんど変わりません（差は1°程度）。表はレース枠の中心での値です。

時刻	方位／高度（15日）
10:30	154°／43°
12:00	186°／47°
14:00	223°／36°
15:00	237°／27°
16:00	**247°／16°**
17:00	257°／4°

午後に南西の海風が入ると、**風上へ向かうレグは、ほぼ太陽に向かって上ることになります。**16時には太陽の高さが16°まで下がり、逆光で海面のパフが読めず、上マークも見えにくくなります。日の入りは17:21〜17:25ごろです。

- 偏光サングラスは必ず持っていきます。つばのある帽子もあると助かります。
- 午後のレースでは、風下にいるうちに上マークの位置と、目印になる陸の景色を覚えておきます。
- 太陽は日を追うごとにわずかに低くなります。ただし最終日（18日）は12:30より後に予告信号が出ないので、16時ごろの逆光が問題になるのは15〜17日です。

7 レース海面のまわり



海面図 版5。レース枠は大会公示 添付図Aの座標、防波堤・灯台・口の幅は座標実測、海岸線は概略。桃色の破線は使う海面（1 km四方）の例で、実際の位置はレース委員会が決めます。

- **使う海面は、枠の中の1 km四方です。**置き場所はレース委員会が決めます。同じ風向でも、西寄りに置かれるか東寄りに置かれるかで、風と波の条件が変わります。
- **防波堤が枠内の風を弱めるかどうかは、断定しません。**枠の南辺と西宮防波堤の間は約0.5〜0.65 kmですが、堤の高さが確定していないため、風への影響は分かっていません。効くとすれば南〜南西の風の日で、コースが南辺寄り・東寄りに置かれたときです。真南の風では枠のほぼ全体が堤の裏になり、南西（225°）の風では口を通った風がD角の近くから枠を斜めに横切ります。南〜南西の日は、自分のコースが「西の口の正面」か「堤の裏」かを確かめ、枠の東側と西側で同じタックのコンパスの数字を数分の平均で比べてみてください。

- **南〜南西の風：**防波堤が波をさえぎり、枠内は比較的平らです。ただし、枠のD角（南西の角）は西の口のすぐ内側（口の東端から62 m）、C角（南東の角）は東の口側で、口から波が入ります。
- **東の強い風：**東西に長い水面を渡るため、チョップが立ちます。
- **北の風：**岸に近い北側ほど波は小さく、南へ行くほど波が育ちます。
- **17日・18日は上げ潮の日です。**防波堤の口の前では流れが集まります。下マークやスタートが枠の南側に置かれたら、そこが口の正面かどうかを確認してください。

> **本レポートの特徴**　西宮沖のレース海面は、通常入手できる気象データ（アメダス等）だけでは東西の風を十分にカバーできません。本レポートでは、**ラナイズビーチクラブ**のご厚意により甲子園浜の風速計データの提供を受け、その空白を補って分析しています。

データの出典　甲子園浜の風速計データ：**ラナイズビーチクラブ**（兵庫県西宮市甲子園浜）のご厚意により提供・公開されたデータを使用しています（2021〜2025年10月の1分値、2026年9月1〜15日の1分値、2026年9月12日以降の公開値）。アメダス：気象庁（神戸・神戸空港・豊中の毎時値、10月8〜25日、2016〜2025年、および2026年8月16日〜9月16日）。西宮市内の大気常時監視局（浜甲子園・鳴尾支所・甲子園・西宮市役所）の毎時値（10月、2021〜2025年）。数値予報：Open-Meteo（Previous Runs API、CC BY 4.0）経由の気象庁MSM・ECMWF IFS・NOAA GFS・DWD ICON。海面図：海面図 版5（レース枠は大会公示 添付図A〔2026年9月4日版〕の座標、防波堤・口はGoogleマップによる座標実測）、風向別の上流遮蔽マップ（試作0.3）、大会公

示 添付図B。太陽位置：レース枠中心（公示座標）での天文計算（作者計算）。

本資料は航海用ではありません。レースの判断は帆走指示書・レース委員会の指示と、当日の海上の実況を優先してください。

作者　Kanie Kaoru　／　**連絡先**　kkanie515@gmail.com ／ kanie.report.com@gmail.com

免責事項　本レポートは情報提供のみを目的としたものです。内容の正確性・完全性は保証しません。本レポートの利用により生じたいかなる結果・損害についても、作者は責任を負いません。出艇・レース参加の判断は、各自とチームの責任で行ってください。